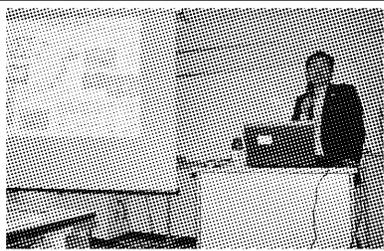


東京都大が 総研セミナー開催

東京都大は「第100回総研セミナー」を開催した。同セミナーでは毎回学内の研究機関「総合研究所」による研究発表が行われている。100回目の節目を迎えた今回、7月に新設した応用生態システム研究センターの研究内容を初



めて披露した。同センターの涌井史郎センター長が「応用生態学からみたみどり」の効用を発表したほか、環境省自然環境局・自然環境計画課の鳥居敏男課長が「生態系活用の重要性について」をテーマに講演

(写真)した。学生を中心に多くの受講者が真剣に耳を傾けた。総合研究所はテーマを持った四つのセンターに各分野の専門家を集め、実用的な研究を行う機関。今後、センターを増やす予定もある。